

(質疑等の要旨)

- 委員 社会的行動やソフト等を含む場合は、「緑」ではなく「みどり」と平仮名で示す場合が多い。
- 委員 計画では、ピンチをチャンスと捉え書き換えていくことが必要。
- 事務局 現行の緑の基本計画から、量から質の充実を目指しており、改定版の計画も「緑」を幅広く捉えたい。
- 委員 公園の適正化、集約、再編は改定の視点に示されていないがどのように考えているか。
- 事務局 本市では2年前に都市計画公園・緑地の見直しを行った経緯があるが、計画として方向性を明らかにしたものは無い。今回、分科会等での議論を通じ、これからの公園のあり方、公園適正化の視点をご議論頂き、計画に反映したい。
- 委員 三世代交流を目的に地域の公園でアジサイ祭りを開催した。除草し、防災イベントや夜店を出し、お年寄りから子どもまで楽しんだ。準備は大変だが比較的小さい公園だから可能であった。
- 委員 介添えがなくても可能なりハビリ施設がある等、小さい公園は、何に重きを置くかが重要ではないか。
- 委員 資料に示された脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるためには、二酸化炭素の吸収率が高い樹木を植栽するなどの取組が必要だ。また、危険木等の問題の対処として、寿命の長い木を植える等が必要ではないか。
- 事務局 本市では日照や成長の速さ、景観等を考慮し植栽をしてきたが、ご意見頂いた二酸化炭素排出等、審議会での議論を通じて植栽樹の方向性を出していきたい。
- 委員 工場緑化や開発事業に伴う緑化等、民間による緑化も、維持・継続が課題であり、街路樹の抱える問題と同じである。維持・継続には費用も掛かるので、助成金等インセンティブを考えてほしい。
- 事務局 ご指摘の通りであり、民間の緑地も行政管理の緑地同様に、対応を考えたい。
- 委員 尼崎南部の運河や水辺での市内の子ども達が積み重ねてきた環境学習の取組実績は、市の財産である。尼崎の自然は南が大阪湾に接する点が特徴で、緑と水の関係が深まっていてほしい。
- 委員 資料の緑の例として河川、水路をあげているが、運河や水面等も対象に考えている。「緑」の記載を平仮名の「みどり」とし、水環境や社会的行為等幅広く意味を持たせ、今後のみどりのあり方を議論していきたい。
- 委員 総合計画のキャッチフレーズ「ひとさき、まちさき、あまがさき」は、花を用いたキャッチフレーズとなっている。ぜひ公園から緑のまちづくりの取組を進めてほしい。公園は協力体制とモラルがあれば幅広く様々な取組が可能で、多分野の問題を解決できる。公園担当職員が先導し、新しい面白い取組をすすめてほしい。
- 事務局 都市整備の部局が連携しまちづくりにおける緑の取組を進めているが、出来ないことがどうすればできるか、市民や関係者とともに試行錯誤で進めたい。

- 委 員 地域の人が公園の使い方を検討することが必要であり、地域に根差す組織と公園の取組を進めてほしい。
- 事務局 防災等への対応も含め、今後の使い方も想像しながら、時代の変化に応じた地域のコミュニティ組織との連携を考えたい。地域に管理を任せる公園には、より公園を使いやすいよう仕組みを整え、地域による公園の維持運営の好循環につなげたい。
- 委 員 兵庫六甲農業協同組合から寄付されたチューリップを地域組織で植え、花が咲き保育園の子どもが皆で花の前でチューリップを歌う等、地域連携が生まれている。
- 委 員 求める緑は地域ごとに違うので、地域別の検討が必要だ。
市民の役に立ちたいという思いを持つ農家は多い。緑の維持管理者に協力依頼も担ってくれると思う。例えば蛍が飛ぶ維持管理を行うなど、環境に優しい方向になるよう働きかけてほしい。
- 委 員 将来、子ども時代原風景として尼崎の公園や緑が目浮かぶように、子どもの体験という視点や子育ての視点に踏み込んで頂きたい。
- 委 員 子どもの活動量が減っており子どもの活動量を増やす事や、利用者が心も体も健康になる公園検討が必要だ。例えばインクルーシブ遊具も1点配置しても効果は薄いく、費用の問題もあると思うが、効果的な整備を検討する必要がある。
- 委 員 子ども達や子育て家庭に意見を聞いてほしい。学校配布のタブレットの利用や、乳幼児とその親が利用するつどいの広場でのヒアリング等、担当する所管と協力して実施し、ある資源を用いたら良い。
- 事務局 事務局内では、子ども向けアンケートの実施は検討中である。
- 委 員 上坂部西公園で行った奄美の植物展は好評を頂き、多くの来場者が公園に足を運ぶきっかけとなった。
- 委 員 今年度の審議会でも地域計画も含めた計画全体を検討するのか。地域の公園配置や機能を検証するには、適切な地域規模の設定が必要だ。
- 事務局 関連する上位計画の地域別計画の地域区分を考慮しながら、複雑になりすぎず、わかりやすい地域区分を考えたい。方向性を専門部会でご議論頂きたいと考えている。
- 委 員 公園内行為許可を出していない公園での活動について押える必要がある。公園担当者も情報を把握しているのではないか。
- 事務局 公園内行為許可は利用調整が目的で規模が大きい行為が中心。公園内の諸活動を、公園担当職員もある程度把握しているが、整理はしていない。地域振興センターと連携しながら、個別の計画に反映したい。

以 上